

2026 年 9 月 28 日

各 位

和歌山県海南市阪井 4 8 9 番地

株式会社タカショー

代表取締役社長 高岡伸夫

「子会社タカショーデジテックの国内工場を再編 屋外照明・ドローン等の生産体制を強化し、
グループ成長を加速」の一部訂正について

2026 年 9 月 28 日付で公表いたしました「子会社タカショーデジテックの国内工場を再編 屋外照明・ドローン等の生産体制を強化し、グループ成長を加速」について、一部訂正がございましたので、以下のとおりお知らせいたします。訂正箇所には、下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

〈訂正前〉

p. 2 <<株式会社タカショーデジテック 会社概要>>段落内 3 行目
・資本金=2000 万円

〈訂正後〉

p. 2 <<株式会社タカショーデジテック 会社概要>>段落内 3 行目
・資本金=5500 万円

3. 添付資料

訂正後の資料を添付しております。

子会社タカショーデジテックの国内工場を再編

屋外照明・ドローン等の生産体制を強化し、グループ成長を加速

ガーデンライフスタイルメーカーである株式会社タカショー（本社：和歌山県海南市 代表取締役社長：高岡伸夫 東証スタンダード：7590）は屋外照明および LED サイン等の製造を手掛ける連結子会社の株式会社タカショーデジテック（代表取締役社長：古澤良祐、本社：和歌山県海南市）において、増産対応および生産効率の向上を目的とし、海南市内の国内工場体制を再編・強化することをお知らせいたします。



【タカショーデジテックが新設した新・第2工場（左）と屋外照明の製造ライン】

◆再編の主なポイント（拠点別）

新・第2工場（海南市阪井／2026年10月1日稼働）

【屋外照明の生産・出荷を集約】タカショー所有の「第2商品センター」を一括賃貸し、新設。

【コスト削減・納期短縮】ポールライト用支柱のカット作業を内製化し、年間約700万円のコスト削減と納期短縮を実現。

【売上目標】新・第2工場での屋外照明ラインは現在の1.7倍に拡大し、年間12億円の売り上げ（2025年に比べ倍増）を目指します。

本社・第1工場（海南市南赤坂）

【ドローン生産能力を倍増】株式会社ドローンショー・ジャパン向け専用機体「DSJ MODEL-X」の受託生産体制を強化し、年1万台（従来比倍増）の生産を可能に。

【新設備の導入・増産対応】スペースの再整備により、LEDサインの大型物件対応や、美容デバイス等、ライトに限らない製造受託の新規受注や増産対応を容易にします。

第3工場（海南市幡川／旧第2工場）

【サブ工場・倉庫として活用】LEDサインのサブ工場兼倉庫とし、将来の設備増設や作業場の拡張に備えます。

◆今後の見通し

今回の再編により、タカショーデジテック（2026 年 1 月期売上高：約 37 億円）の生産・物流効率を大幅に向上させ、将来的な売上高 100 億円達成へ向けた基盤を整えます。タカショーグループとしてシナジーを高め、更なる業績拡大に取り組んでまいります。

＜＜株式会社タカショー 会社概要＞＞

◆本社所在地：

〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 20-1

◆事業内容：

- ・環境エクステリア（インドア及びアウトドア庭園、緑化）に関する製品の企画開発
- ・ガーデン用品の輸出入販売
- ・エクステリア商品のソフトウェア開発販売
- ・CAD、CG ソフトウェアの提供及び処理業務

◆ビジョン：やすらぎのある庭空間を通じて、幸せな暮らしを創ります。

◆ホームページ：<https://takasho.co.jp/>

＜＜株式会社タカショーデジテック 会社概要＞＞

- ・設立＝2004 年（平成 16 年）11 月
- ・本社所在地＝和歌山県海南市南赤坂 20－1
- ・資本金＝5500 万円
- ・代表取締役社長＝古澤 良祐
- ・事業内容＝屋外照明、LED サイン、イルミネーション、デザインの各事業
- ・売上高＝37 億 6400 万円（2026 年 1 月期）
- ・URL＝ <https://takasho-digitec.jp/>

【リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タカショー
経営管理本部 条（くめ）

電話：072-734-8505

FAX：072-734-8508

メールアドレス：press@takasho.co.jp